



21世紀を 自立して 生き抜ける子に

JAMネットワーク代表
ことばキャンプ主宰 高取しづか



どのような状況になっても自分で切り開いていける
「幸せになれる子」に育てたいと思っている
あなたを応援しています。

朝日新聞
LINE子ども
ニュースに掲載！



高取しづか プロフィール

令和2年度内閣府
「子供と家族・
若者応援団表彰」
内閣総理大臣賞
をいただきました！



JAMネットワーク代表・ことばキャンプ主宰。コミュニケーション力 育成活動20年。7つの力のトレーニングによる「ことばキャンプ」プログラムを作り、全国で実施している。新聞・雑誌・本の執筆、各地で講演活動を行っている。神奈川県の子育て支援委員をつとめ、子育て中の親や教育現場で指導にあたる。大学院に社会人入学し、コミュニケーショントレーニングと自己肯定感の研究を行っている。児童養護施設や里親などへ社会貢献活動も実施中。

著書31冊

大人向け書籍



子ども向け書籍



高取の情報発信メディア。

ブログ：自立して生き抜いていける子に

…URL:<https://ameblo.jp/t-shizuka/>

ホームページ：幸せになれる子に育てたいあなたへ

…URL:<https://www.takatori-shizuka.com/>

ブログ、毎日発信中！



このようなことでお役に立てます！



講演

各種教育関係機関さま、自治体さま、幼稚園、小学校の講演会会主催者さまのご要望に沿って、組み立て可能です。

<主な講演会のテーマ>

- ・わかつちやいるけどほめられない！～効果的なほめ方叱り方～
- ・「ことば力」のある子は必ず伸びる！
- ・自己肯定感を育てるかわり方
- ・幸せになれる子の親子コミュニケーション etc

- ・講演
 - ・グループレッスン
 - ・個別セッション
- お申込みはこちらから

講演や
研修等の
実績です。



グループ レッスン

子育て親向けのレッスンなど、単発講座から連続講座まで開催可能。こちらも、依頼者さまのご要望に沿った構成が可能です。



個別 セッション

グループセッションから個別セッションまで行っています。



自分の気持ちや考えを、
相手のことを配慮しながらわかりやすく伝えていける。
自尊他尊®のコミュニケーション力をつけて、
自立した子どもを育てるお手伝いをしていきたいですね。

高取しづか



高取さんはこれまで、「ことばキャンプ」活動に取り組まれてきました。児童養護施設の子どもたちにも提供し、心を閉ざしていたこどもたちが、ことばを獲得することで変わっていく「子どもの心をことばが開く」ことを実感されているんですね。
ことばキャンプの内容や背景についてお話をください。

ことばキャンプとは、話す力、聞く力を身につけるトレーニングプログラムです。

もともと私は雑誌記者だったのですが、夫の転勤で二人の娘と共に米国に渡りました。英語の壁が立ちました。その前に日本語で「ことばで伝えるスキル不足」を痛感したのです。日本では「以心伝心」や「察しあう」文化なので、ことばによって伝え合うことに慣れていないと感じました。子どもの学校にボランティアに出かけるうちに、米国の子どもたちは幼稚園から話す・聞く教育を受けていることを知り、「これから生きる子どもたちに伝えたい!」と強く思うようになったのです。

ことばキャンプでは、具体的にどのようなことに取り組んでいるのですか？

米国の学校や家庭で行われていたコミュニケーショントレーニングの要素を、7つの力「度胸力、論理力、理解力、応答力、語彙力、説得力、プレゼン力」にし、それを日本の文化に合う形にしたのがことばキャンプのプログラムです。どれも楽しいゲームやワークで、子どもたちが自然に身につけていくように構成されています。

自己肯定感の研究をされていらっしゃると思いますが、コミュニケーションと自己肯定感はあるのですか？

はい！そうなんです。

ことばキャンプ受講後の子どもたちが「自信がついた」「自分の気持ちが言えるようになった」などの変化が親や養育者の方たちから報告されていました。これを数値化できないか、とアラ還で大学院に入学しました。ことばキャンプの介入研究を行ったところ、明らかに介入後に自己肯定感が上がっていました。文献を調べると「コミュニケーショントレーニングで自己肯定感は向上する」ことは、多くの研究で明らかにだったのです。

自分の気持ちや考えを伝えられるようになり、人との良好なコミュニケーションができると自己肯定感が上がるのです。

今後、どのようなことを伝えていきたいですか？

コロナ禍を経て、社会構造も大きく変化しました。映像インフラの発達やチャットアプリの普及、ことばで伝え合うコミュニケーションの難しさに、ますます拍車がかかっていると思います。また、自己肯定感の問題は子どもだけの課題ではありません。未来を担う子どもたちを中心に、自尊他尊®のコミュニケーションがあたり前になる社会をめざしていきたいですね。一人でも多くの子どもが、ことばで心の扉を開いてほしいと思います。

インタビュー 唐木芳和



連絡先

〒221-0077 横浜市神奈川区白幡向町27-1-107
NPO法人JAMネットワーク
高取しづか
Email: stakator@jam-network.org